

みんなの広場



きらり! No.4 まちの主役



アシノビト
大平夏澄さん

大平夏澄さん(34歳)は、美術大学を卒業後、上野周辺で実家から送られた旬の野菜を使ったカフェを営んでいました。転機は東日本大震災。人のつながり、里山の資源がある芦野に戻り、遊行茶屋で地産地消の食事を提供するほか、芦野の良さを発信しています。

最近では、大学生の体験プログラムの受け入れや、県人材育成事業における芦野地域をモデルとした移住・雇用問題等の調査研究など幅広く活動しています。

また、芦野の里づくりプロジェクトチームであるアシノビトを立ち上げ、若い女性を中心に、自分の夢をこの町で始めよう、地域のためにできることから始めようという仲間が集まっています。

大平さんは、「芦野は、少子高齢化が進行していますが、過去、歴史が途絶えたことはありません。ここを次世代にどう引き継いでいくかが課題です。生きにくさを感じる人は、芦野の持つ女性らしさに癒されています。移住希望の仲間もいるので、今後は、女性の小商いが、生きがいや社会貢献になるよう空き家を活用した地域づくりに取り組みたいです。」と語ります。

地域の良さに気づき、それを生かしながら支え合う—大平さんから地域再生の鍵をもらいました。

◇短歌

師の桜植えしかの丘眺むれば
爛漫にして過ぐる歳月
四十年賀状交換のみの友
語り合おうよ桜の下で

平山 真弓
塩島 恵子

◎今月も遊行柳の投句には該当作品がありませんでした。

◇俳句

下萌の牧に種牡馬の気負かな
下萌の大地に立ちて弓を引く
下萌の地に農魂くすぐらる
草萌や犬と駈け行く那須ヶ原
土を掻く庭のにわとり草燃ゆる
嫁がせし子を思いおり雛の夜
戦災も震災も生き青き踏む
故里の訛は消えず酸葉かな
街角に伝わる雛のすまし顔
すかんばをかじりし日々やありし友
祖母の雛飾りし脇に孫の雛
暫くは家族となりぬ雛かな
吊し雛商店街も華やぎて
さらさらと瀬音やさしき猫柳
残雪にはのか陽のさす四方清し
荒寺の屋根や庭にも残る雪
残雪に倒けて痛むや古き傷
残雪に犬の足跡まだ消えぬ
ねこ柳花無き季の主役なる
猫柳ふわふわ花穂に触れてみる

高久 巻江
中島 君江
中込とし郎
井上 博子
高畑 和子
杉本美枝子
丹野 セツ
松本 和子
須藤さよ子
深澤 為寿
深澤 千郷
大場 芦山
南雲 浩一
大島 昇
岡部 慶子
榎 かず子
津田イツ子
角田富美子
小森 静江

那須文芸

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 4月15日(水)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
町総務課広報広聴係 ☎72-6901



ラジオ番組 【ら・ら・なすTime】

パーソナリティー
久保田彩乃

☆毎週木曜日 正午～午後12時30分

☆レデイオベリー 76.4 MHz

☆那須町提供【ら・ら・なすTime】

4月から曜日と時間を変更してお届け！那須町のフレッシュな観光イベント情報や魅力をお伝えしていきますので、お楽しみに。